

●漁況情報

- 12月9日、長井町漁協所属の井戸隠居丸さんの大型定置網に体重 140 kgのシロカジキ（シロカワ）が入網しました。冬場の12月にカジキが漁獲されるのは珍しいことです。当センターの海況担当職員によると、12月7日頃から相模湾内に黒潮からの暖水が波及したとのことで、それとともにシロカジキが湾内に来遊した可能性があります。



水揚げされたシロカジキ（シロカワ）

●浜の話題

- 12月4日、横須賀市東部漁協走水大津支所に地元の市立走水小学校3年生の児童たちが訪れ、総合学習としてワカメの種挿し体験をしました。参加した児童たちはワカメ生活史の説明を受けた後、ワカメ種糸を幹縄に付ける作業をしました。ワカメの種糸は同小学校の窓から見える養殖いかだで育てられ、来春には収穫体験も予定されています。



ワカメの種付け作業を行う児童

- 12月5日、横須賀市の深浦漁港において、横須賀市漁協横須賀支所旧田浦出張所の協力の下、よこすか海の市民会議・よこすか海遊クラブ主催の「わかめの種付け体験」が開催されました。一般から募集した参加者 150名は、ワカメ養殖について説明を受けた後に、ワカメ種糸を幹縄に着ける作業を体験しました。幹縄につけたワカメ種糸は、同支所の漁業者により同漁港沖の養殖イカダに運ばれて育成され、来年2月に収穫される予定となっています。
- 12月5日、横須賀市東部漁協横須賀支所（旧田浦出張所）所属の漁業者が、深浦漁港内で採苗した

天然マガキの稚貝の沖出しを行いました。同漁協所属漁業者は、横須賀産力キの養殖に取り組んでおり、地元で自ら採苗した稚ガキを潮通しの良い漁港沖の養殖漁場で大きく養成することを目指しています。



地元で採苗した稚ガキ

- 12月8日、当センターセミナー室において「トラフグ研修会」が開催され、トラフグ延縄漁を行う漁業者等 19名が参加しました。研修会では、当センター栽培推進部の研究員から「神奈川県トラフグ採捕動向と放流効果調査について」、(国研)水産研究・教育機構の研究員から「浜の道具箱 東海3県フグはえ縄漁業編 自由回答から見えてくるもの」についてそれぞれ発表があり、参加した漁業者はみな熱心に聴講していました。発表後、出席者からは種苗放流場所の餌環境の重要性についての意見や、新型コロナウイルスの影響で取引価格が伸び悩む中で価格向上への取組みに関心を示す意見などがありました。



研修会の様子

●お知らせ

- 12月29日(火)、三浦市の北下浦漁港(上宮田地区)内に三和漁協上宮田支所の直売施設がオープンします。年末の営業日時は29日(火)と30日(水)の10時から14時頃(売り切れ次第終了)で、定置網や刺網などで獲れた新鮮な地魚などが販売されますので、皆様お誘いあわせの上お越しください。
- 12月29日(火)と30日(水)午前5時30分から7時頃(売り切れ次第終了)まで、三浦市の金田漁港内にある金田海業センターで「金田湾朝市歳末セール」が開催されます。当日はスズキや地ダコ、ワカメ、ナマコなどの地魚のほか、ダイコンやキャベツなどの地元野菜、洋ランなどが販売されますので、皆様お誘いあわせの上お越しください。